

令和7年度 東陽中学校の教育について

【学校教育目標】

「もとよりもっと」を追究 ～未来は変えられる～

1. めざす学校像 : 保護者・地域に開かれ信頼される学校

- ・生徒が生き生きと活躍する学校
- ・生徒の活躍の場を求め、教職員が一丸となって取り組む学校
- ・安全・安心な学校

2. めざす生徒の姿 : <校訓 「自主」「友愛」「忍耐」「健康」>

- ・新たなことにも挑戦し、仲間と共に粘り強く追究する生徒
- ・心身ともに健康で、明るく前向きに取り組もうとする生徒
- ・ふるさとの自然、伝統・文化、人を愛する心豊かな生徒

3. めざす教師の姿 : 生徒一人一人の学びを最大限に引き出す教師

- ・環境の変化を柔軟に受け止め、学び続ける教師
- ・生徒のやる気に火をつけ、主体的な学びを支える教師
- ・組織の一員として「協働」し、工夫・改善を図る教師

4. 重点事項

①【確かな学力を身に付けさせる授業】＝「魅力ある授業」に向けた授業改善

- ・生徒自らが考え、仲間との対話を通して個々の学力を伸ばす授業を展開する。
- ＊「令和の日本型学校教育」：「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実
- ＊「思考・対話・個別学習ツール」としての一人一台端末の活用

②【特別活動等の充実】＝「なすことによって学ぶ」ことの重視

- ・特別活動等を通じて、企画・実行させ、やり切らせることで、生徒の達成感・成就感・自己有用感を高める。
- ・生徒同士の「何でも言い合える関係づくり」、「お互いのよさを認め合える関係づくり」を進め、居場所・絆づくりの充実を図る。

③【持続可能な校内組織体制の構築】＝「協働」する教職員集団

- ・校務分掌における複数体制等の構築を通して人材育成を図り、「業務の平準化（働き方改革）」を進める。
- ・同僚性を重視し、個々の「強み」を生かしながら学校全体としての組織力を高める。
- ＊各種法令・規則・ガイドライン等の遵守及び「報告・連絡・相談」の徹底
- ＊「石川県教員育成指標」「若手教員育成プログラム」「石川県教員研修計画」

④【保護者・地域等との連携】＝機会を捉えた情報発信・情報共有

- ・保護者・地域との連携及び、小中連携を通して、生徒の「生きる力」（人間力・逞しさ）を育む。
- ・課題を共有し、連携して解決に向けて取り組む。
- ＊地域の自然環境、伝統・文化、人材、施設等を生かした「ふるさと学習」「復興教育」
- ＊災害発生等の「緊急事態における教育活動」